

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|-----------|--|-------------------------|
| 18 | 鈴木 幸司（12） | <p>1. 富士市産木材の利用促進について</p> <p>国は、2050年カーボンニュートラル、2030年度温室効果ガス46%排出削減を目標に掲げており、温室効果ガスの吸収源対策の強化を図る上でも、我が国の木材需要の約4割を占める建築分野における取組が求められている。</p> <p>そんな中、昨年10月、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律が施行され、地方公共団体の責務として、その整備する公共建築物における木材の利用に努めなければならない旨が定められた。</p> <p>本年8月30日に開催された富士地区林業振興対策協議会においても、富士市森林組合、フジヒノキメイド有限責任事業組合連名で、市に対し富士駅北口に計画されている公益施設に富士市産木材の活用を求める要望書が提出されたとの報告があった。</p> <p>豊富な森林資源を持つ富士市の今後の林業政策について、以下のように伺う。</p> <p>(1) SDGs 未来都市に選定された富士市の林業振興をどのように考えるか。</p> <p>(2) 2019年より市町村に交付されている森林環境譲与税を今後どう活用していくのか。</p> <p>2. 旧藤田邸の活用について</p> <p>令和3年3月末をもって文化施設としての使用を終了した富士市大淵の旧藤田邸の今後の活用方法について伺う。</p> <p>(1) 旧藤田邸の利活用に係るサウンディング型市場調査において、どんな提案があり、それに対し市はどう考えたのか。</p> <p>(2) 現在、旧藤田邸の庭園活用イベントのアイデアを募っていると聞くが、本年度中にどんなイベントを想定しているか。</p> <p>(3) 庭園だけでなく、旧藤田邸の建物としての文化的価値をどう考えているのか。広見公園への移築の可能性も含めて伺う。</p> <p>3. 富士市内の公共施設における改修が必要な特定天井について</p> <p>2011年に発生した東日本大震災において、吊り天井の落下被害が大きかったことを受けて、国は吊り天井の耐震性に見直しの必要があることを確認した。そして2013年、この見直しをまとめたものとして、国土交通省より天井脱落対策に係る技術基準告示（国土交通省平成25年告示第771号他）が公布され、2014年に施行された。</p> <p>これにより建物の天井が特定天井に該当する場合、新たに定められた基準を満たすことを検証し、安全性を対外的に証明することが求められるようになった。</p> <p>そこで、以下のように伺う。</p> <p>(1) 富士市内の公共建築物のうち、国交省の定める特定天井を持つものは幾つあり、その安全性についてはどのように</p> | 市長 及び 教育長 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|-----------|---|-----------------------------------|
| 18 | 鈴木 幸司（12） | <p>対策されたか。</p> <p>(2) 文科省は、国交省の基準とは別に「6メートル超の高さ、または200平米超の面積を持つ吊り天井」を対策が必要な大規模天井としているが、学校施設における天井の安全性についてはどのように対策されたのか。</p> | <p>市長 教育長 及び 担当部長</p> |